

オプアウト

## 《研究課題名》

前眼部の形状による術中虹彩緊張低下症候群の発生予測

## 《研究対象者》

2022年4月から2024年3月までに滋賀医科大学医学部附属病院にて白内障手術を施行された方

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報、手術動画を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

### (1) 研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2028年10月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 眼科学講座 小幡峻平

### (2) 研究の意義、目的について

#### 《意義》

白内障手術時のトラブルの一つである、術中虹彩緊張低下症候群の発症を予測することが可能になれば、より安全に手術が可能になるなど日常臨床に直結した貢献が期待できます。

#### 《目的》

手術前の眼の所見から術中虹彩緊張低下症候群を予測することで、術中虹彩緊張低下症候群のリスク因子の解明をめざします。

### (3) 研究の方法について

#### 《研究の内容》

術中虹彩緊張低下症候群の有無の2群に分けて、手術前の様々な因子を比較して、統計解析や人工知能を用いて、術中虹彩緊張低下症候群の発症予測モデルを開発します。

#### 《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

患者さんの年齢、性別、疾患などの身体情報、眼の情報、手術内容などカルテを用いて調べます。

#### 《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

オプトアウト

#### **(4) 個人情報等の取扱いについて**

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

#### **(5) 研究成果の公表について**

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

#### **(6) 研究計画書等の入手又は閲覧**

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

#### **(7) 利用又は提供の停止**

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

#### **(8) 本研究に関する問い合わせ先**

**担当者：**滋賀医科大学 眼科学講座 垣内遥  
**住所：**520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
**電話番号：**077-548-2276  
**メールアドレス：**hqophth@belle.shiga-med.ac.jp